

5-1 東海地方における地震活動の変化

Change of Seismic Activity in the Tokai District

気象庁地震予知情報課
Earthquake Prediction Information Division
Japan Meteorological Agency

第1図は東海地方における最近5年間（1994年11月1日～1999年10月31日）のM3.0以上、深さ60km以浅の地震活動の変化を示したものである。これらの図に示したA, B, Cの3領域の地震活動に見られる主な変化は次の通りである。また、第2図は1997年11月からの最近2年間のM2.0以上の地震活動を見たものである¹⁾。

A領域：1997年に入ってから北端の領域で地震活動が停滞し、消長を繰り返しつつ、1998年には静かな領域がさらに南へ広がった。このように活動レベルが低下する中で、1998年4月22日のM5.4の三重・岐阜県境の地震（岐阜県美濃中西部）とその余震活動、6月23日のM4.2の三重・奈良県境の地震活動が発生した。1999年1月下旬からは三重県中部の地震活動が始まり、地震回数が増加したが、活動は徐々に収まっている（第2図）。1999年後半からは、愛知県周辺など領域北部のフィリピン海スラブ内および地殻内でM3以上の地震数が増加した（第1図）。

B領域：全体的には1997年の初め頃から静かな状態が続いている（第1図）。M2以上の地震活動で見ると、1998年5月頃から、活動が低下傾向となる中で、1999年5月7日に静岡県中部（静岡・山梨県境付近）でM4.7の地震が発生し、余震を伴った。その後、この地震の余震が収まった後も、M2以上の地震は低いレベルであるが一定のペースで発生している（第2図）。1999年5月～1999年10月の期間に、B領域で発生したM3以上の地震は7個で、1989年からの累計は126個である^{*1)}。

C領域：新島・神津島付近では、1996年末から、M3を越えるような集中的な地震活動が発生していなかった。1999年になって2月14日M3.8、3月14日M4.7、3月28日M5.0の地震を含むバースト的な活動が発生したが、その後はM3クラスの地震が散発的に発生する程度で、地震が少ない状態である。1998年4月の伊豆半島東方沖の群発地震活動以後、伊豆半島付近と神奈川・山梨県境付近など北側の領域では活動レベルが低下している（第1、2図）。

参 考 文 献

- 1) 気象庁地震予知情報課：東海地方における地震活動の変化，連絡会報，62（1999），257-260

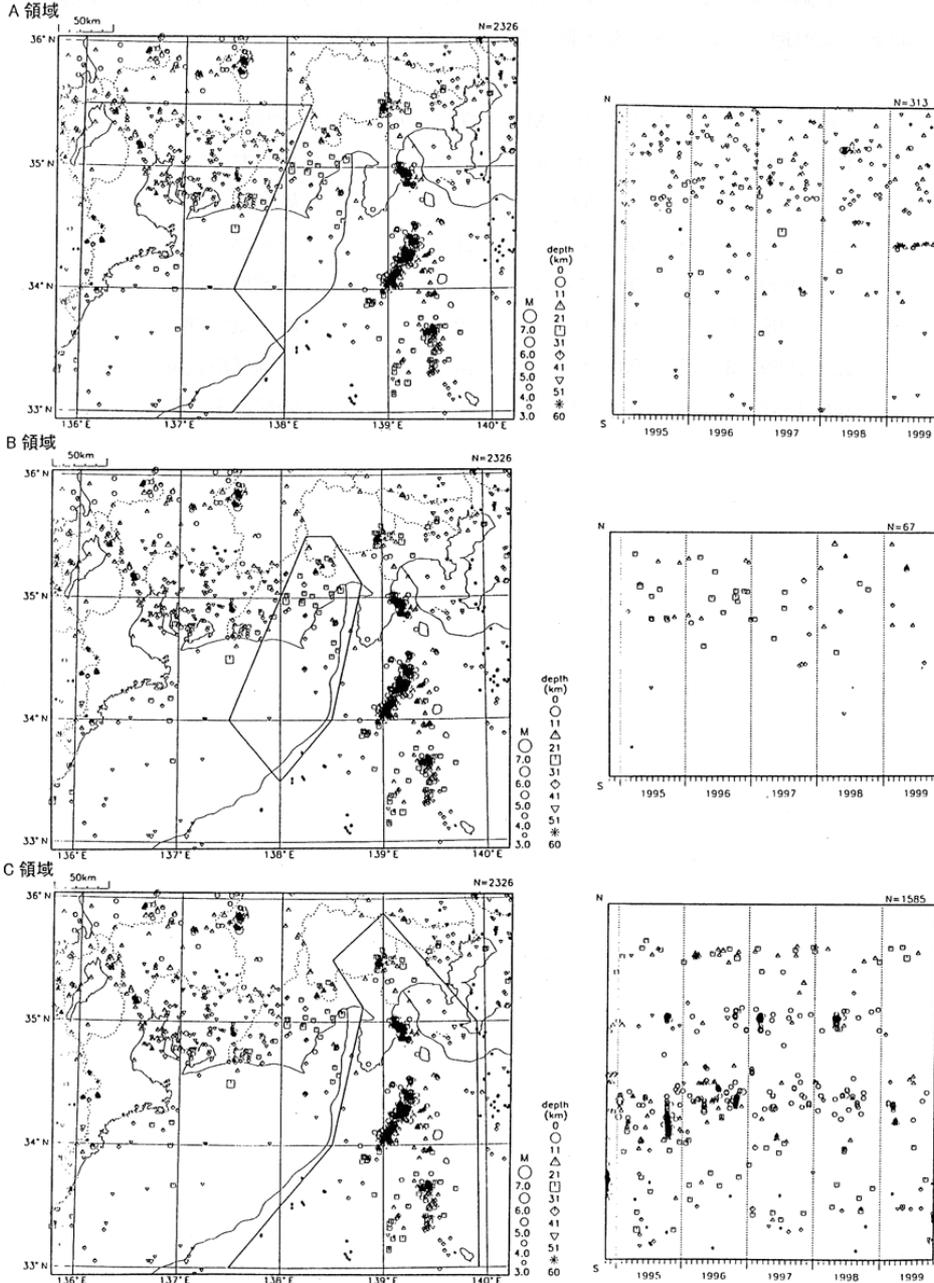
* 1) これら7個の地震は以下の通り。1989年7月から1999年4月までの地震は、連絡会報第44～62巻「東海地方における地震活動の変化」の末尾に掲載。

No.	年	月	日	時	分	M	深さ	最大震度	地域
120	1999	5	7	21	48	4.7	19.9	3	静岡県中部
121	1999	5	7	21	57	3.5	19.9	1	静岡県中部
122	1999	5	8	00	36	3.1	21.3		静岡県中部
123	1999	5	8	00	45	3.0	20.3		静岡県中部
124	1999	5	8	10	35	3.8	19.3	2	静岡県中部
125	1999	6	12	03	21	3.5	18.0	2	静岡県南西部
126	1999	8	17	07	08	3.0	32.9		駿河湾南方沖

東海地方における地震活動の変化—1994年11月1日～1999年10月31日 M \geq 3.0 depth 0-60km

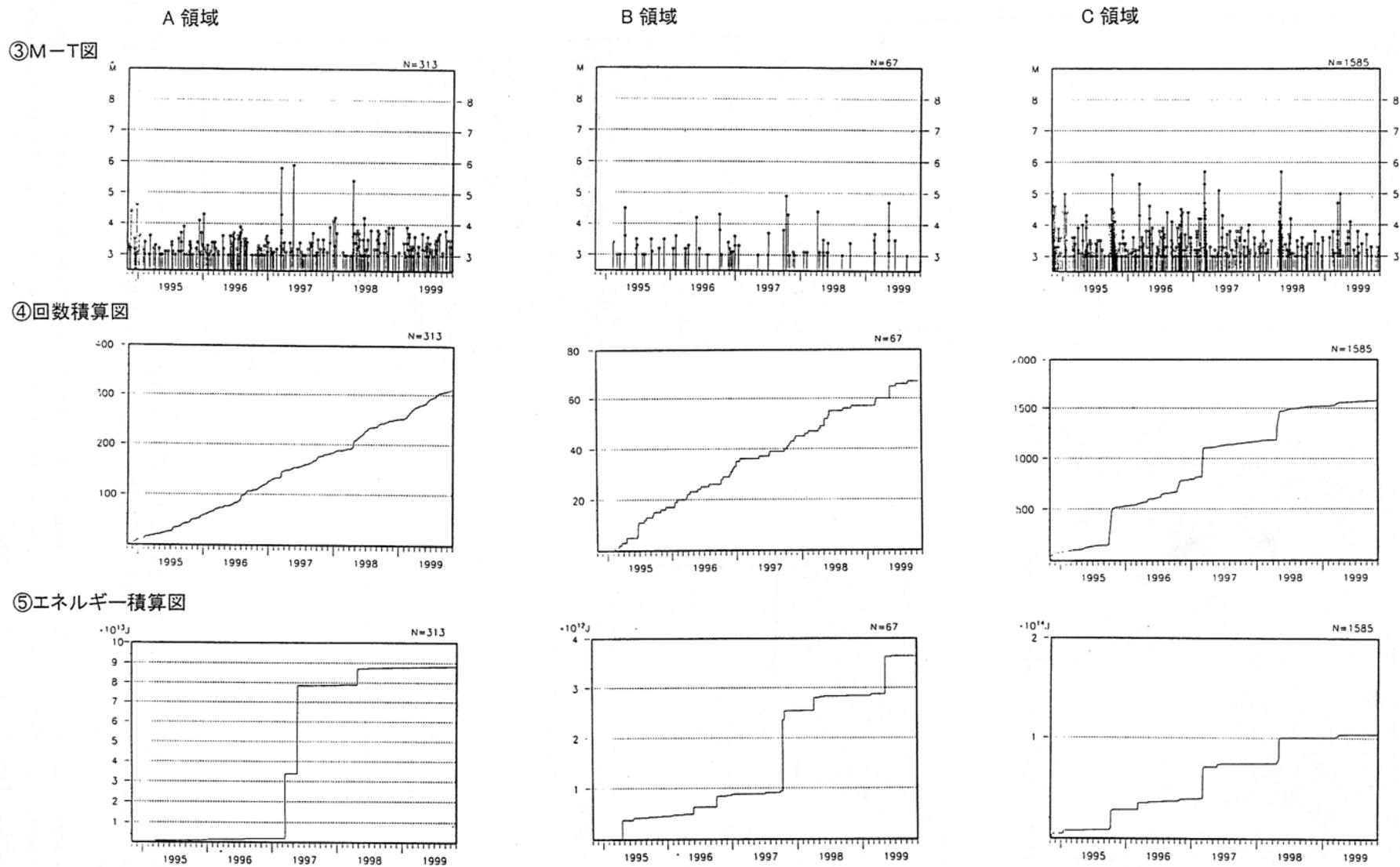
①震央分布図

②時空間分布図



第1図 東海地方のA,B,C領域における最近5年間の地震活動(1994年11月1日～1999年10月31日：M3.0以上，深さ60km以浅)。震央分布，時空間分布，M-T図，地震回数積算図

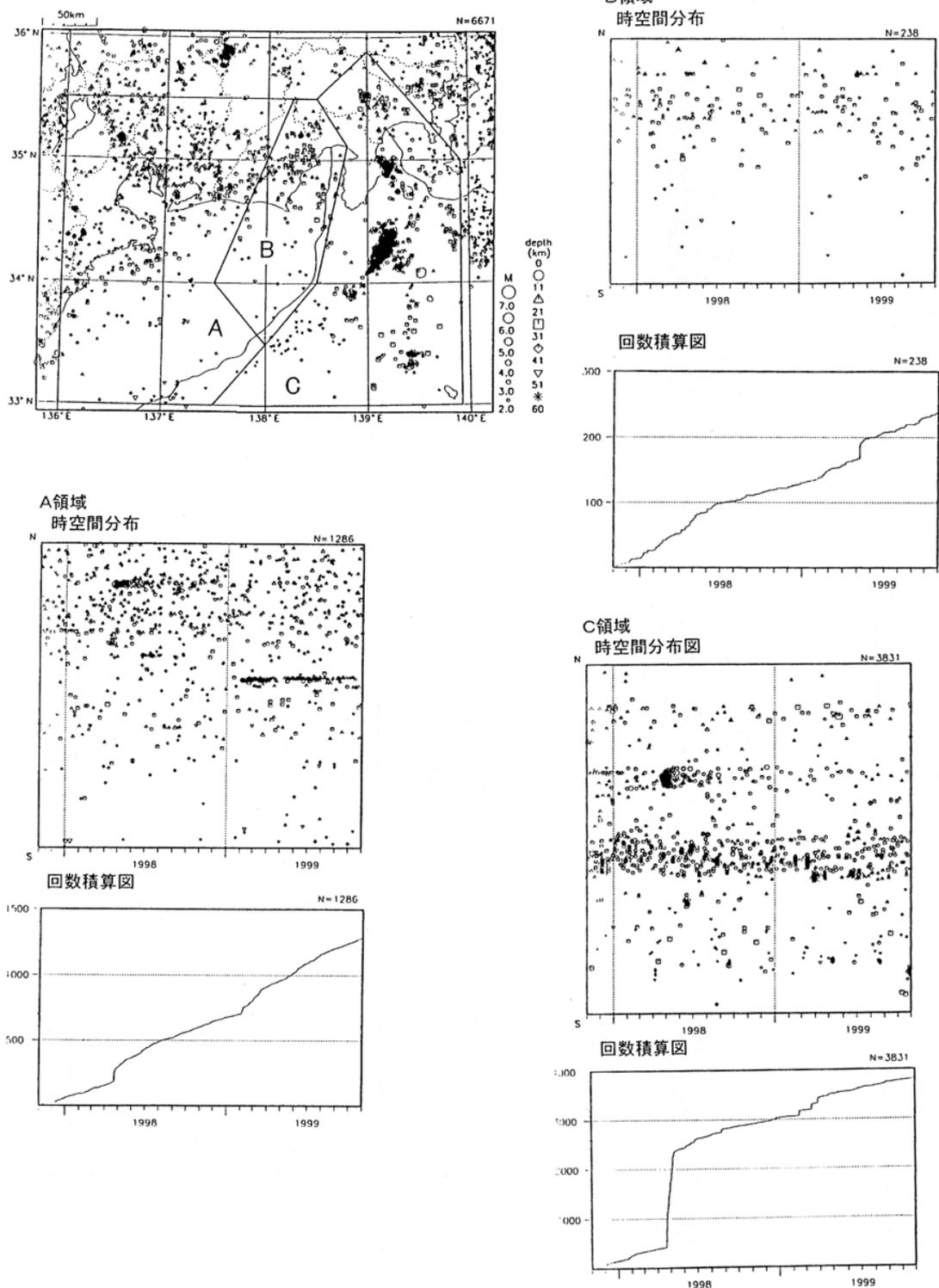
Fig.1 Seismic Activity in the A,B,C regions in the Tokai District during 5 years (November 1, 1994 October 31, 1999 : M 3.0, depth 60km). :Epicentral distribution, :Space-time plot, :M-T diagram, :Cumulative number of earthquakes.



第1図 つづき。

Fig.1 Continued.

東海地方における地震活動の変化 1997年11月1日～1999年10月31日 M \geq 2.0 depth 0-60km
震央分布図



第2図 東海地方のA,B,C領域における最近2年間の地震活動(1997年11月1日～1999年10月31日：M2.0以上，深さ60km以浅)。震央分布と各領域の時空間分布，および，地震回数積算図

Fig.2 Seismic Activity in the A,B,C regions in the Tokai District from November 1, 1997 through October 31, 1999 (M \geq 2.0, depth \leq 60km). Epicentral distribution, space-time plot, and cumulative number of earthquakes for each region.